

## コンピュータチェック事例コード

48SJ990661502

## コンピュータチェック内容

アジスロマイシン錠が4日以上投与されており、肺非結核性抗酸菌症がない場合にチェックを実施。

## コンピュータチェック根拠

本製剤は、3日間に限り算定可であると示されています。（平25.12.13保医発1213第6号）  
また、審査情報提供事例（令和2年2月26日新規）にて「原則として、「アジスロマイシン水和物【内服薬】」を「肺非結核性抗酸菌症」に対して処方した場合、当該使用事例を審査上認める。」とされており、その留意事項として「喀痰検査にて培養陰性後、概ね1年以上投与を継続する。」と示されています。

## グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)  
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)  
コンピュータチェックの対象となった項目が  
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 74.46%
- 検証対象都道府県 35

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	和歌山、香川、熊本、大分、宮崎、広島、富山、長野、山梨、愛知、三重、奈良、群馬、静岡、福島、京都	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	宮城、長崎、大分、熊本、福島、群馬、鳥取、奈良、静岡、山梨、長野、東京、和歌山、北海道、愛知、三重	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	宮城、富山、大分、宮崎、山梨、長野、山口、長崎、広島、新潟、三重、福島、熊本、福岡、鳥取、京都	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	当該コンピュータチェックの内容に該当	3,367件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,507件
検証を必要とする審査	請求どおり	860件

